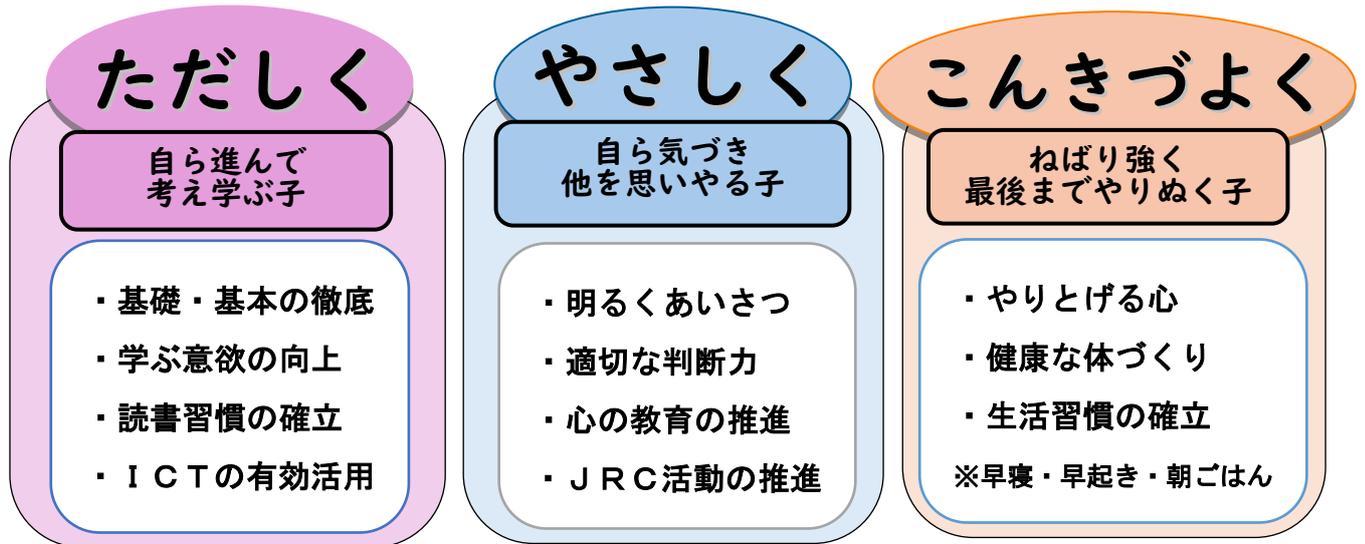


令和6年度 教育計画						学校番号 035	
八幡浜市立川上小学校							
校長名	玉岡 真史	学級数	4	児童数	27	教職員数	7

【学校の教育目標】

ふるさとを愛し、心豊かでたくましく生きる川上っ子を育てる



<p style="text-align: center;">重 点 目 標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童一人ひとりの特性を理解し、明るく楽しく元気よく活動する児童を育てる。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 全教職員で情報を共有し、よさや可能性を認める生徒指導体制を確立する。 (2) 自尊感情や自己有用感を育むとともに、仲間意識に支えられた集団づくりを進める。また、地域との交流の機会も広げ、共に生きる力も育てる。 (3) 一人一人の特性に応じた指導計画を立て、適切な指導と支援の充実に努めることで、児童の健全育成の推進及び特別支援教育の充実に努める。 2 ふるさとのよさや伝統を学び、ふるさとに誇りを持つ児童の育成に努める。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 家庭・地域と連携し、ふるさとのよさや伝統を学び、ふるさとに誇りを持ち、ふるさとに貢献しようとする児童を育てる。 (2) 地域の人材と連携を深め、地域の環境を生かしたふるさと学習を充実させる。 3 少人数・複式学級の経営を充実させ、確かな学力の定着に努める。 <ol style="list-style-type: none"> (1) これまで積み上げてきた複式学級の指導法にICTの活用や体験活動を組み合わせ、共に学び、高め合う児童を育成する。 (2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点の中で特に「対話」を重視した授業づくりに努め、協働する中で、自分と異なる他を尊重し、共に課題解決するために必要な資質・能力の素地を育成する。 4 現職教育 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習指導要領のねらいの実現に向け、研究の視点を明確にし、組織的、計画的な研修の充実を行い、学力の向上を目指す。 (2) 授業(複式学級・特別支援学級)における個別指導と協働学習における効果的なICTの活用について研修を深め、教科指導等に位置付ける。また、ICT支援員を効果的に活用する。 (3) キャリア教育について研修を深め、教育活動全体を通して、実践的・体験的なキャリア教育を推進する。
<p style="text-align: center;">管 理 運 営</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 人的管理 <ol style="list-style-type: none"> (1) ライフ・ワーク・バランスを大切にし、支え合う職場づくりを推進する。 (2) 正確で迅速な報告・連絡・相談を徹底し、組織の機能化・活性化を図る。 (3) 服務規律の遵守、危機管理意識の徹底、健康管理の推進に努める。 2 物的管理 <ol style="list-style-type: none"> (1) 豊かな心を育み、温かみがあり潤いを感じる教育環境づくりに努める。 (2) 危機管理体制を整備し、潜在危険箇所の除去と安全管理の徹底を図る。 3 事務管理 <ol style="list-style-type: none"> (1) ICTを活用し、事務処理の簡略化と適切な文書管理に努め、業務時間の短縮を行う。また、教職員の意識改革を行い、会議の時間短縮を行う。 (2) 個人情報の厳正な管理及び情報公開に対応した公簿等の適切な処理・管理に努める。
<p style="text-align: center;">本 校 教 育 の 特 色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の伝統として受け継がれている川名津神楽を学校教育に取り入れ、保存会と連携し、伝統文化を学び続けることによって郷土愛を育むことができている。また、地域の農業・漁業従事者と連携し、教育活動に参画してもらうことで、ふるさと学習も充実している。今後も継続して推進し、より一層の充実を図っていきたい。 ○ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、対話を重視した教育活動を展開していく。児童同士、教師と児童、教師同士、保護者、地域の方々など、様々な対話を重視することで、自己の考えを広げ、深めるとともに、協働による課題の解決や学力向上、道徳教育、人間関係づくり等の様々な教育活動の充実に生かす。